

医用放射線機器安全管理センター

センター長 武藤 巧 副センター長 有泉 弘

1. 役割と基本方針

MRCは、画像診断システム関連の機器に対する安全性確保、性能維持、および医療被ばく低減を目的とし、点検技術者および漏えいX線量測定士の認定、認定者の継続的な育成、および点検済証（測定済証）の頒布をおこなう。また、これらを通じ、医用放射線機器を含む画像診断システム関連機器の安全性確保、性能維持、および予防保全に努める。

2. 2019年度の主な活動項目とその成果

2.1 第36回点検技術者認定講習会

第36回認定講習会は下記の日程で実施した。

日 時：2020年1月8日（水）～1月10日（金）

場 所：京都テルサ（京都）

講習科目：1月8日 X線診断装置、MR装置専門講習及びインジェクタ装置専門講習

1月9日 共通講習および循環器用X線診断装置専門講習

1月10日 X線CT装置、核医学装置専門講習および放射線治療装置専門講習

認定試験結果に基づき2月5日に認定審査委員会を開催し、各専門資格別の新規認定技術者を決定した。認定者の内訳は下記のとおりである。（ ）は前年度結果

共通講習：133名（192名）

X線診断装置専門：89名（128名）

X線CT装置専門：46名（39名）

MR装置専門：21名（36名）

循環器用X線診断装置専門：37名（33名）

核医学装置専門：12名（10名）

放射線治療装置専門講習：65名（67名）

インジェクタ装置専門講習：9名（19名）

2020年3月時点で認定済技術者の専門別累計は9,753名となった。

2.2 第32回点検技術者更新登録講習

同時期に第32回更新登録講習をおこない、合格者に対して新たな認定技術者証を発行した。講習の概要は下記のとおりである。

実施時期：2019年12月1日～2020年1月4日

講習方法：本講習は、各専門資格別認定技術者に対して3年毎におこなうものである。前回に引き続きWebによるeラーニング方式を採用し、自主解答により合否を決定した。

今回の講習で更新された専門資格別技術者数は下記のとおりである。

X線診断装置専門：593名（623名）

X線CT装置専門：416名（431名）

MR装置専門：311名（288名）

循環器用X線診断装置専門：249名（288名）

核医学装置専門：181名（128名） （ ）は前年度更新者数

2.3 第1回漏えいX線量測定士認定講習会

第1回漏えいX線量測定士認定講習会は、2020年1月8日～9日の2日間、京都テルサで実施。認定試験結果に基づき2月14日に認定審査を行い各測定士の新規認定を決定した。認定者の内訳は下記のとおりである。

漏えいX線量測定士補佐：25名

漏えいX線量測定士：73名

2.4 「MRC情報」発行

認定技術者に最新の装置技術情報を提供する目的で、MRC情報誌を編集・発行している。2019年度は下記号を発行した。なお第46号より冊子の配布に代えて、Webによる閲覧方式に変更した。

第57号 2019年9月発行

第58号 2020年3月発行

2.5 点検済証頒布

認定を受けた点検技術者が病院等で医療機器を点検した確認として、点検済証を発行している。これはJIRAより各社へ頒布し、点検後に該当機器に貼付するもので、2019年度は8.0万枚を各社へ頒布した。

2.6 委員会活動

(1) 本委員会

MRC活動の全体計画を策定するために開催している。

2019年度は3回開催した。

(2) 認定業務委員会および専門分科会、同主査会

認定講習・更新登録講習に関する実施事項および各専門科目の講習テキスト・講習会資料の制作・試験問題原案の作成をおこなうために開催している。

2019年度は合計51回開催し、専門分科会および主査会としてより専門的な内容を審議した。

(3) 認定審査委員会

認定試験問題の内容審査および認定試験受験者の合否判定と講習全体の内容に関する検討をおこなうために外部の学識委員も参加していただき開催している。

2019年度は2回開催した。

(4) MRC広報分科会

「MRC情報」の企画、編集のために開催している。

2019年度は4回開催した。

3. 2020年度の活動計画概要

2019年度の活動内容と同様の活動をおこなう。

なお、第2回漏えいX線量測定士認定講習会は、点検技術者認定講習会と同時期の1月に開催したが、今年度は2020年7月に東京で開催する。